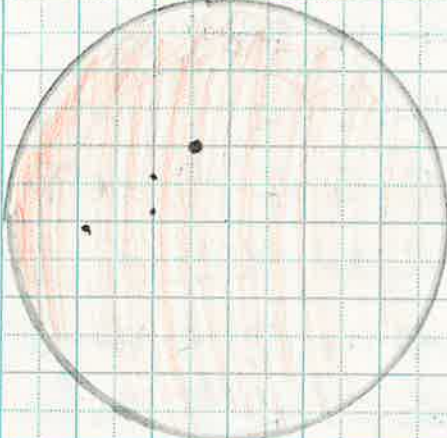



めあて 太陽と月のちがい

10月28日

No.

太陽		月
		
球形	形	球形
直径約140万km	大きさ	直径約3475km
約1億5千万km	地球からのきょり	約38万km
黒いしみのようなもの(くろてん)がある。	表面	クレーターというくぼみがある。
自らつよいひかりを発している。	光	自ら光を出さず、太陽光を反射して光って見える。
東から77冊なみの星をとおりにしへしすむ。	地上からみたとき	東から77冊なみの星をとおりにしへしすむ。
ちきゅうが太陽のまわりをまわっている。	地球とのかんけい	月がちきゅうのまわりをまわっている。

10/30

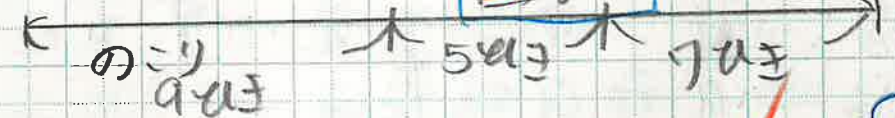


①(金)算数 図に使って考えよう。  
②の図を使って分かりやすく表そう。

もんだい①  
木にはとが止まっていた。  
5ひきとんでいきました。  
また、7ひきとんでいったので  
のこりは、9ひきになりました。  
はじめにはとは、なんひきいましたか？

式  $5 + 7 = 12$   
 $12 + 9 = 21$

はじめの数 21ひき



答え 21ひき

③(金)暗算やかけ算などでとくことより  
もじ、さい図を使ってもんだいを  
分かりやすく、とても役に立つ  
から図を使って、ともんだいを  
といて、とてもかんたんになって  
いけたらうれしいです。

①(金)国語 かん用句

①かん用句をおぼえよう。  
かん用句は、いろいろかん用  
句があります。

たとえば、「ねこの手もかりたい」  
は、ねこの手をかりると言う意味  
ではなぞ、小さな動物のたすげが  
ほしいぐらいうることがある、  
それがいいという意味なのです。

「道草を食う」は、道の草を食べる  
ことではなく、目的に行、ている  
ときにどこかにふるという意味です。

ほかには、馬が合うや頭をひねる、  
心が動くやねこのひにい、たぬき  
ね入りやがおたりおとすなどがあ  
ります。まだまだいっぱいあります。

②二つ以上の言葉がおすびについて、  
元の言葉の意味とはちがう新しい  
意味を表す言い方を、かん用句と  
いう。かん用句には、動物や植物  
にかんする言葉、体やバにかんする

言葉、天気にかんする言葉など、知らぬの身の